

2.3 Visualizing two or more variables (pp. 36-37)

- * 2つ以上の変数を持つデータセットで、各列同士の組合せの全ての散布図を同時に表示する
1つの図を描く→関数 `pairs()` で作成

Figure 2.8 : ratings の5つの変数（数値）のうちの2つの組合せによる2つの図の全てを含む散布図

```
pairs(ratings[, -c(1, 6:8, 10:14)])
```

列の条件：－（右に指定される列を除く）

ここで除く列はすべて因子（因子は散布図に視覚化されない）

- 主対角線上のパネルが、パネルの軸のラベルを規定する。
（例）一番上の行の全てのパネルは、縦軸が **Frequency**
最初の列の全てのパネルは、横軸が **Frequency**
- 各変数の組合せは、2回（1回は横軸にある変数、1回は縦軸にそれと同じ変数）描かれる。
（例）(2, 1) と (1, 2) (5, 1) と (1, 5)
- かなり多くの予測変数の組合せに相関関係がある→Multicollinearity（多重共線性）

※予測変数間に強い多重共線性があると、どの予測変数が従属変数を最もよく説明するかを確定することが不可能になる。（この問題はまた重回帰分析のところで詳しく）